

平成28年 4月26日
国土交通省 大阪航空局

大阪航空局における災害対応・復旧活動について

大阪航空局では平成28年4月14日及び16日に発生した熊本地震による熊本空港の運用正常化に向けて以下の支援活動を行っています。

- 熊本空港の滑走路や管制塔、レーダー施設などに大きな被害はありませんでした。
- 民間定期便は、熊本到着便は19日早朝、熊本出発便は同日夕方より再開しています。
- 旅客ターミナルビルには被害があり復旧措置により一部再開しています。
- 熊本空港は搜索救難等目的とする航空機運航支援のため、24時間運用しています。



(大阪航空局 熊本空港事務所)

- 4. 14 (木)
 - ・ 21:26頃、熊本県熊本地方を震源とする地震（震度7）が発生
 - ・ 直ちに大阪航空局対策本部を立ち上げ。
 - ・ 九州地方の各空港事務所へ管制塔やレーダー施設等の点検実施を指示
 - ・ 滑走路、誘導路、駐機場等に支障なし。
 - ・ 熊本空港の航空保安業務の臨時提供を実施（15日07:30まで）
- 4. 15 (金)
 - ・ 熊本空港における管制業務等の再開に向け、災害対応要員7名を派遣
 - ・ 熊本空港の航空保安業務の臨時提供を実施（16日07:30まで）
- 4. 16 (土)
 - ・ 1:25頃、熊本県熊本地方を震源とする地震（震度7）が発生
 - ・ 商用電源停止により非常用発電設備にて送電
 - ・ 余震多発により管制塔より避難、気象現業室にて情報提供業務開始
 - ・ 福岡空港より可搬型発電装置3台搬入（500kVA ×2、40kVA×1）
 - ・ 災害対応要員6名を派遣

- ・熊本空港の航空保安業務の24時間運用開始（24日 07:30 まで）
- ・大分空港の航空保安業務の24時間運用開始（19日 07:30 まで）
- ・ヘリコプターによる救援物資輸送の許可について電話、FAX による申請受付開始

4. 17（日）

- ・災害対応要員3名を派遣

4. 18（月）

- ・気象現業室に簡易管制用通信制御装置が設置完了し運用開始
- ・福岡空港より非常用管制塔の輸送を実施

- ・災害対応要員9名を派遣

4. 19（火）

- ・熊本空港管制塔における飛行場管制業務再開

- ・民間航空便一部運航再開（到着便 ANA 東京→熊本、出発便 F D A 熊本→名古屋）

- ・災害対応要員1名を派遣

- ・長崎(事)において大村飛行場の航空保安業務臨時提供を実施（熊本へ人員輸送（自衛隊）のため）



（簡易管制用通信制御装置）



熊本に搬入された非常用管制塔（福岡から輸送）



非常用管制塔の展開例（現在は左のように保管中）

4. 20（水）

- ・災害対応要員10名を派遣

4. 21（木）

- ・災害対応要員2名を派遣

4. 22（金）

- ・熊本空港の航空保安業務の24時間運用を延長（28日 07:30 まで）

- ・災害対応要員7名を派遣

4. 23（土）

- ・災害対応要員2名を派遣

4. 24（日）

- ・災害対応要員2名を派遣

4. 25（月）

- ・災害対応要員3名を派遣

4. 26（火）

- ・災害対応要員2名を派遣

【問い合わせ先】

大阪航空局 総務部 広報担当

担当者 米倉、仲地

電話：06-6949-6207